※令和４年度以降入学生用

学校番号	3004

令和５年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	現代高等保健体育　（大修館書店）						
副教材等	現代高等保健体育ノート　（大修館書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・健康・安全について、健康的な生活を送ることが出来るよう知識を深める。
・日常生活で直面するであろう健康課題を知り、その解決方法を考える。
・健康や安全についての社会的な取り組みや個人での対応について知る。
・身近な健康問題に興味をもつ。

２　学習の到達目標

・生涯にわたって健康を保持増進していくには各段階に応じた自己の健康管理と環境づくりが重要であることを理解できる。
・健康や安全に対する社会的な取り組みを知り、個人的な対応と関連づけて実践できるようになる。
・健康に生きていくためには、健康的な行動を選択するとともに環境と健康、食品の安全性の確保のための環境づくりや保健・医療機関等の社会環境の活用を推進していくことが重要であることが理解できる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・生涯の各段階においての健康の保持増進には各段階の健康課題に応じた適切な意思決定や行動選択及び社会環境づくりが不可欠であることを理解できる。 ・健康の保持増進のためには自然環境や社会の制度、活動などが深くかかわっていることを理解し、課題解決のための活動を理解しようとしている。	・生涯に通じる健康や健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し健康に関する概念に着目して解決の方法を思考し判断するとととともにそれらが表現できる。	健康の保持増進のためには、個人や社会の意思決定や行動選択が重要であることを理解し、そのための自らや社会の行動を考え活用しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生涯を通じる健康	思春期と健康	a:思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり健康課題が生じることがあることを理解できる b:思春期と健康について習得した知識をもとに心身の発達に伴う健康課題を解決するために情報を整理できる。 c:思春期における健康課題を認識し自らの考えを例を挙げて説明できるようになる。	ワークシート	課題学習の成果物等	課題学習の成果物等
		結婚生活と健康	a:妊娠・出産・家族計画・人工妊娠中絶など様々な観点について課題を理解できるようになる。また、自他の健康に対する責任感良好な人間関係など結婚生活を健康に過ごすための課題について理解できる。 b:結婚生活と健康について習得した知識をもとに結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けての情報が整理できる。 c: 結婚生活における健康課題を認識し自らの考えを例を挙げて説明できるようになる。	ワークシート	課題学習の成果物等	課題学習の成果物等

※令和４年度以降入学生用

		加齢と健康	a:中高年期の健康には生きがいを持つことや地域との交流を持つことなどさまざまなことが関係することが理解できる。また、認知症などへの対処、介護の必要性など医療・福祉との連携が必要なことも理解できるようになる。 B:加齢と健康について習得した知識を基に中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取り組みと社会的対策を評価すること。 c:中高年期の健康の課題を認識し例を挙げて説明することができる。	ワークシート	課題学習の成果物等	課題学習の成果物等
2学期		労働災害と健康	a:労働災害は、時代と共に質や量が変化してきたことが理解できるとともに防止のためには健康管理と安全管理が重要かことを理解できるようになる。 b:習得した知識をもとに労働災害の防止に向けて個人の取り組みと社会的対策が整理できる。 c:労働災害についての課題を認識し例を挙げて説明できるようになる。	ワークシート	課題学習の成果物等	課題学習の成果物等
		働く人の健康の保持増進	a:働く人の健康は職場の健康・安全管理とともに心身両面にわたる総合的な対策の推進が図られていることが理解できる。 b:習得した知識をもとに生活の質の向上を図ること関連付けて課題解決の方法を模索すること。 c:働く人の健康についての課題を認識し例を挙げて説明できるようになる。	ワークシート	課題学習の成果物等	課題学習の成果物等

※令和４年度以降入学生用

	健康を支える健康づくり	環境汚染と健康	a:人間の生活や産業活動が自然環境汚染を引き起こし健康に影響、被害をもたらすことを理解できるようになる。 b:自然環境汚染について、事例を通して整理し環境汚染の防止や改善の方策に応用ができるようになる。 c:環境汚染が健康に与える影響を例を挙げて説明できるようになる。	ワークシート	課題学習の成果物等	課題学習の成果物等
		環境と健康にかかわる対策	a:環境汚染を防止するための社会的対策について理解するとともに健康への影響や被害を防止するための施策が理解できる。 b:健康を支える環境づくりにおける事象や情報について自他や社会の課題が発見できるようになる。 c:健康を支える環境づくりについて例を挙げて説明できるようになる。	ワークシート	課題学習の成果物等	課題学習の成果物等
		環境衛生にかかわる活動	a:人々の健康を守るためには環境衛生活動が重要な役割を果たしていることが理解できる。 b:健康を支える健康づくりについて自他や社会の課題の解決方法とそれを選択した方法を整理できる。 c:環境衛生活動について例をあげて説明できるようになる。	ワークシート	課題学習の成果物等	課題学習の成果物等
		食品の安全性	a:食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることが理解できる。 b:習得した知識を自他の日常生活に適用して健康被害の防止と健康の保持増進をするための計画を立てることができる。 c:食品の安全性の確保について例を挙げて説明できる。	ワークシート	課題学習の成果物等	課題学習の成果物等

※令和４年度以降入学生用

3学期		食品衛生にかかわる活動	a:食品衛生に関わる健康被害の防止と健康の保持増進にはさまざまな関係者がそれぞれの役割を果たすことが重要である。 b:食品衛生に関わる活動について習得した知識を自他の日常生活に適用して健康被害について計画を立てることができる。 c:食品衛生に関わる活動について例を挙げて説明できるようになる。	ワークシート	課題学習の成果物等	課題学習の成果物等
		我が国の保健･医療制度	a:人々の健康を支えるための様々な情報･制度について理解できるようになる。 b:健康の保持増進のためには様々な情報･制度がありその活用について整理できるようになる。 c:健康を支える様々な情報･制度について例を挙げて説明できるようになる。	ワークシート	課題学習の成果物等	課題学習の成果物等
		地域の保健･医療制度	a:健康の保持増進のためには自己の健康上の課題を把握し地域の諸機関およびサービスを活用していくことが理解できる。 b:地域の保健･医療機関の活用について関連した情報を整理し生活の質の向上に向けた課題解決に応用できる。 c: 地域の保健・医療機関の活用について例を挙げて説明できるようになる。	ワークシート	課題学習の成果物等	課題学習の成果物等
		医薬品の制度とその活用	a:医薬品の有効性や安全性、販売、使用法について理解できるようになる。 b:生活の質の向上のために医薬品の制度とその活用や利用の仕方を整理することができる。 c:医薬品の制度とその活用について例を挙げて説明できるようになる。	ワークシート	課題学習の成果物等	課題学習の成果物等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度